

1. 事業の位置付け

事務事業名	魚食普及促進事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	09-010101-030000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働: <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
魚料理教室や魚まつり朝市などのイベント開催を支援することにより、消費拡大が図られています。		魚の消費拡大や地魚の普及を図るため、魚教室や各種イベントの開催などを支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	魚料理教室・魚食普及イベント開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			30	32	36			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	各種イベント参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			11,000	11,000	11,500			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①: 予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
朝市・さばき方教室を実施することにより、地産地消の推進や魚食の普及に寄与することができた。									
平成19年度の検証結果	A: 成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	朝市やさばき方教室の実施は市民の関心が高く、魚食の普及に対する必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	地産地消の推進や魚食の普及により魚の消費拡大が図られるところから継続して実施することは有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	魚料理教室や魚まつり朝市により魚食の普及活動を支援することは多くの参加者を得ており妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	多くの人を集めて実施するために効率性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 若年層の魚離れの解消のため対策を検討する必要がある。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				魚教室、魚まつり朝市などの開催支援	魚教室、魚まつり朝市などの開催支援	魚教室、魚まつり朝市などの開催支援		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	300	300	300	0	0
	一般財源	0	0	500	500	500	0	0
事業費 (A)		0	0	800	800	800	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	100.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.62	0.62	0.62	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	5,203	5,203	5,203	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	6,003	6,003	6,003	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平塚魚市場、平塚市漁業協同組合、魚商業組合、水産加工組合による魚食普及協議会が実施主体であり魚食の普及促進のため現状規模で継続する。	
平成21年度 of 取組方針	
魚料理教室や朝市などのイベント開催を支援することで魚の消費拡大を図る。	
課長コメント	市民に対して魚食の普及や、漁業を理解してもらうために、今後も継続して実施していく。